＜総合振興計画進行管理表＞

施策評価表
（行政分野別計画）

1．基本事項

作成日 平成29年07月26日(水)

施策	中小企業の経営安定化の支援	期間	H.25 ～H.29	施策担当部課名	商工振興課

総合振興計画			
行政分野別計画施策名	大項目	000006	活力とにぎわいあふれる産業づくり＜産業振興＞
	中項目	000002	活力ある商工業の振興
	小項目	000002	中小企業の経営安定化の支援
基本戦略			
主要プロジェクト			

施策の概要（目的や対象）	市内中小企業の良好な経営を維持・向上させることを目的とします。
重要度及び満足度の状況	本施策は、重要度は高く満足度が低い状況である。これは市内で買い物が完結しない、満足するだけの価値のある財やサービスが供給されていないと感じる市民が多いという結果と考えられる。
施策を取り巻く社会状況等	商業集積地区には個人経営の店舗が多く、経営者の高齢化と後継者不足により、市内小売店舗が減少している。また、経済のグローバル化や電子商取引など中小企業を取り巻く環境も大きく変化している。
施策の推進のための主な取り組み	中小企業のニーズにあった融資制度の充実 行政と商工団体の連携による支援 後継者対策の推進 中小企業の電子商取引の導入支援

2．評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	計画初期値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
成果指標	商工団体の会員数	事業所	-	3,057.00	3,057.00	3,057.00	3,057.00	3,057.00
	当該年度実績		3,057.00	3,061.00	3,081.00	3,145.00	3,153.00	0.00
	公的な融資制度のうち市の融資制度を活用した企業の割合	%	-	0.40	0.80	1.60	3.00	3.00
	市の融資制度活用件数／公的な融資制度活用件数×１００		0.20	3.80	2.86	0.00	0.00	0.00
	電子商取引導入支援実施件数	件	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	市及び商工団体が実施した電子商取引導入に関する支援件数		0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	商工団体相談件数	件	-	0.00	0.00	850.00	860.00	870.00
	経革新、融資、創業に関する相談件数		0.00	0.00	0.00	856.00	901.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3．一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1：現状維持　2：拡充　3：縮小

＜評価コメント＞

中小企業経営への支援において、専門団体である商工団体による支援が大きな役割を持っている。その商工団体の会員数は順調に伸びてきており、商工団体への相談件数も順調に伸びている。中小企業の活動が活発化する中での不安を、商工団体が解消できているためと判断する。融資は低調な推移だが、これは市制度融資以外の一般の融資等で賄えていると判断できるため、現状維持とする。

評価者	商工振興課長　三ツ橋　正記

4．改善・改革プラン（3．一次評価を受けての具体的な改善策）

区分	
□	既存事業の拡充
□	事業の新規立案
□	事業の廃止・縮小
□	事務事業の再編
■	その他

具体的な対応策等

融資については、県、商工団体のあっせんする融資により賄ている状況であるが、利率の見直し等については、近隣市町村の動向を注視していきたい。

5．二次評価

＜所属長の見解＞

市内企業の大部分を占める中小企業の支援は市内商工業振興の最重要施策である。このため、市内中小企業の経営相談の主力を担っている深谷商工会議所、ふかや市商工会と更なる連携を深め、融資のあっせんや電子商取引の導入などを支援していきたい。

所属長	産業振興部長　吉田二郎